



いやさか通信



農業研究所の施設公開 8/21

丹後農業研究所で施設の公開がおこなわれました。この催しは府民の方々や子ども達に、研究所が日頃取り組んでいる研究内容を知っていただくことを目的に毎年開催されています。当日は田んぼや果樹園の案内、農業機械の展示、丹後産フルーツの販売、郷土資料館の唐箕（とうみ）や背負子（しょいこ）等昔の農機具のお話といった多くの企画が用意されました。参加者からは農業に関する質問が寄せられたり、子ども達は施設内に置かれた農業クイズを解いて回っていました。



その他にもVR（バーチャル・リアリティ）での農業体験や、野間ふるさとキッチンから冷やしうどん、ガラシャ漬け、くろもじゼリー、アイスコーヒーが販売され、大人も子どもも含め、多くの参加者で賑わいました。

黒部区「ふくふくきさ」

黒部区では、毎週木曜日の午前10時から旧黒部保育所にて「ふくふくきさ」というモーニングカフェをおこなっています。ここでは軽食や地域から持ち寄られた野菜等を販売しています。

この取り組みは旧黒部保育所で活動しているひまわりさんに協力していただき、地域の方々と一緒に交流の場を作ることをおこなわれています。

きさには子どもから大人まで楽しめる木製パズルや積み木も置いてあり、和やかな雰囲気の中食事をしながら団欒されていました。黒部区の今井区長さんは「他の区の方も気軽に来てほしい」と話されていました。



《弥栄町の人口》

	R1.8	H16.4
男	2,271人 (78.8%)	2,883人
女	2,564人 (81.0%)	3,165人
計	4,835人 (79.9%)	6,048人
世帯数	1,964世帯 (106.0%)	1,853世帯

☆住民基本台帳による数値です。

☆（ ）内は、H16年4月の京丹後市への合併時の数値を100として、増減を示すものです。

弥栄病院「地域懇談会」 9/5

弥栄病院では、平成19年度から京都府立医科大学の教育プログラムとして、学生の研修を受け入れています。そのうちの1つとして、学生が医療や福祉に関する地域の声を直接聞く場を設けるため、溝谷区公民館で地域懇談会を開催しました。弥栄病院の職員13名、研修生12名と地域住民が集まり、弥栄病院への期待や要望、医師や看護師に望むこと、研修生自身の悩み相談等、様々な意見交換がおこなわれました。研修生は地域の皆さんから病院で実際に体験したことや感じたこと等を聞き、対応の仕方や患者の気持ち等、医療の基礎を学びました。



懇談会の後、研修生からは「患者さんの気持ちを考えたコミュニケーションを大切に、事務的な対応ではなくきちんと向き合える医師になりたい」「医療の技術を磨くことはもちろんだが、患者さんから信頼される人になりたい」といった感想が述べられました。